

昭和61年8月5日洪水の概要

平成28年10月5日
国土交通省 東北地方整備局
福島河川国道事務所

昭和61年8月5日洪水の概要

昭和61年8月4日夜から5日朝にかけて、台風10号崩れの温帯低気圧は、関東から東北地方の各地に記録的な豪雨をもたらし、甚大な被害が発生した。

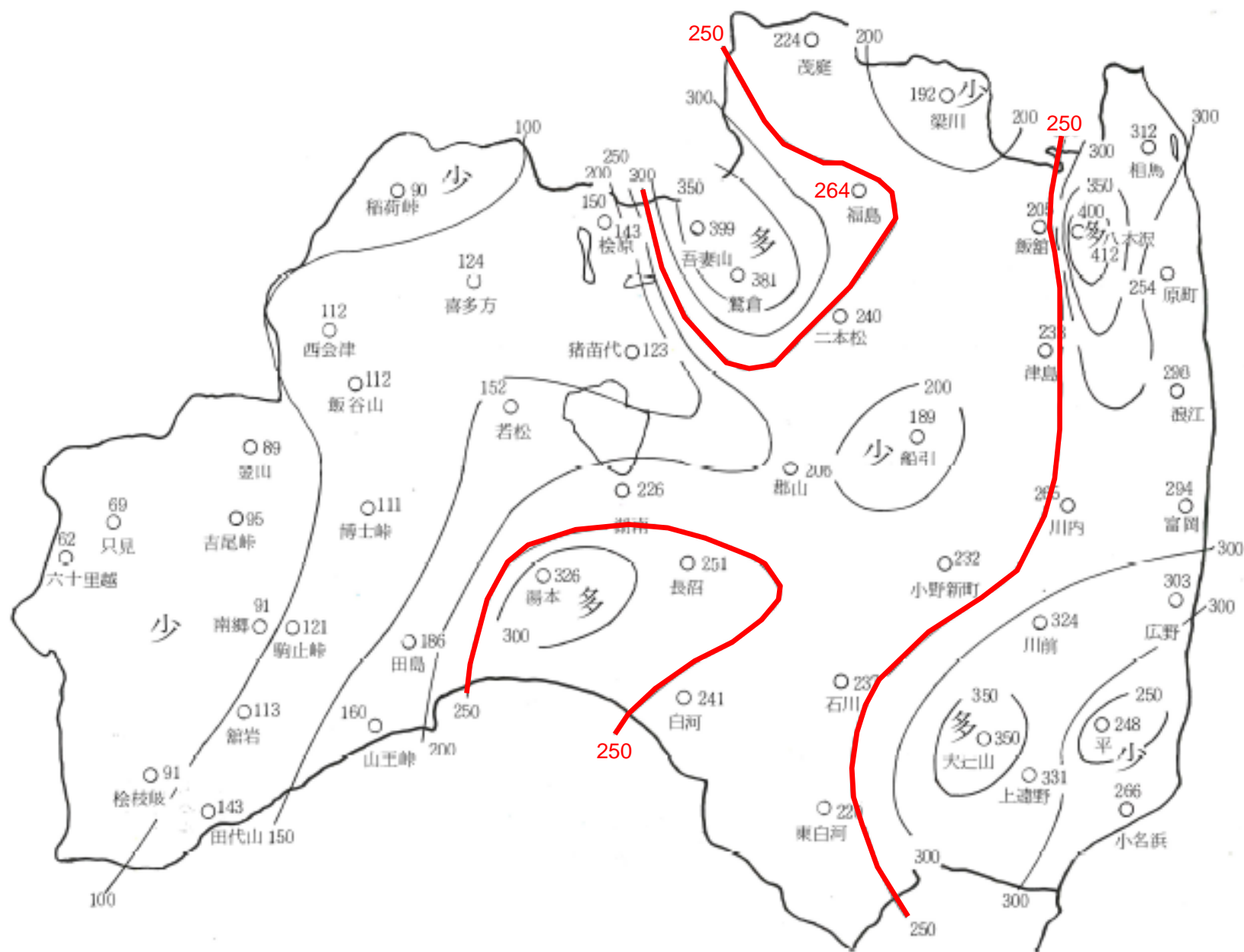
福島県内では、吾妻山系で400mm、福島観測所で福島気象台開設(明治22年)以来の最大豪雨を記録しました。

阿武隈川では須賀川観測所及び阿久津観測所(郡山市)で計画高水位を超える洪水となりました。

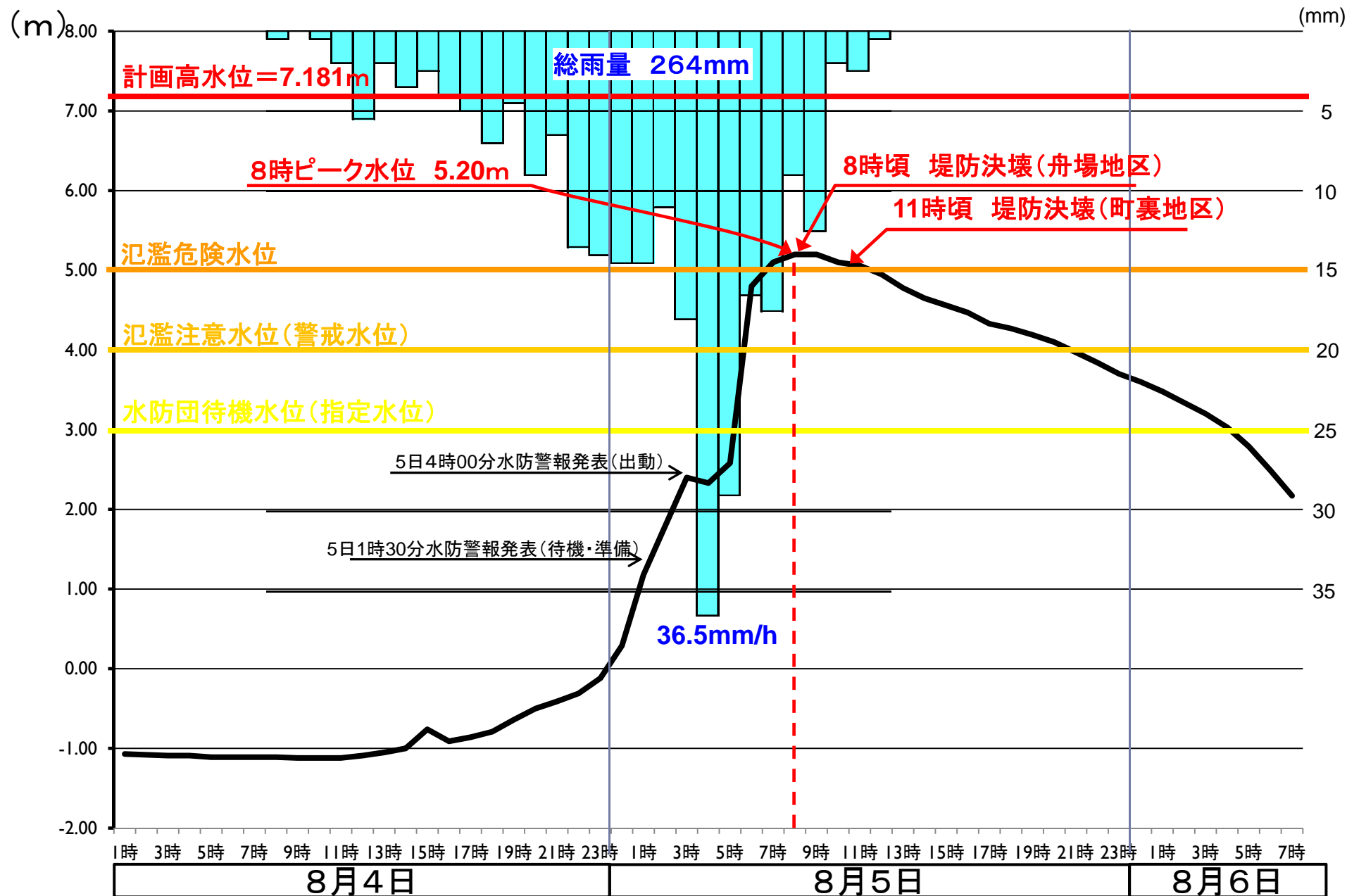
直轄管理区間では伊達市(旧梁川町)の支川広瀬川で2箇所破堤、県管理河川では郡山市の逢瀬川、谷田川で破堤するなど、各地で浸水被害が発生しました。

この大雨により各地で被害が発生し、死者3名、住家の全半壊56棟、床上浸水5,570棟、床下浸水8,543棟などの被害が発生しました。(昭和61年8月20日時点 福島県災害対策本部調べ)

昭和61年8月5日洪水 等雨量線図



昭和61年8月洪水 伏黒水位観測所ハイドロ-福島地点ハイエト



昭和61年8月5日洪水浸水状況（伊達市・国見町・桑折町・福島市）

昭和61年8月 洪水記録（1）阿武隈川上流（伏黒管内）
 [伊達市] [国見町] [桑折町] [福島市]



昭和61年8月5日洪水浸水状況（郡山市・須賀川市・玉川村）

昭和61年8月 洪水記録（3）阿武隈川上流（郡山管内）
 [郡山市] [須賀川市] [玉川村]

